

二一トが合宿形式で集団生活や就労を訓練する南知多町内海の「若者自立塾」で二十四日、三カ月の訓練を終えた男性塾生(三カ)〓名古屋市昭和区〓の卒業式があった。男性は「これから就職に向けて頑張りたい」と決意表明。仲間から温かい拍手が送られた。

(長田真由美)

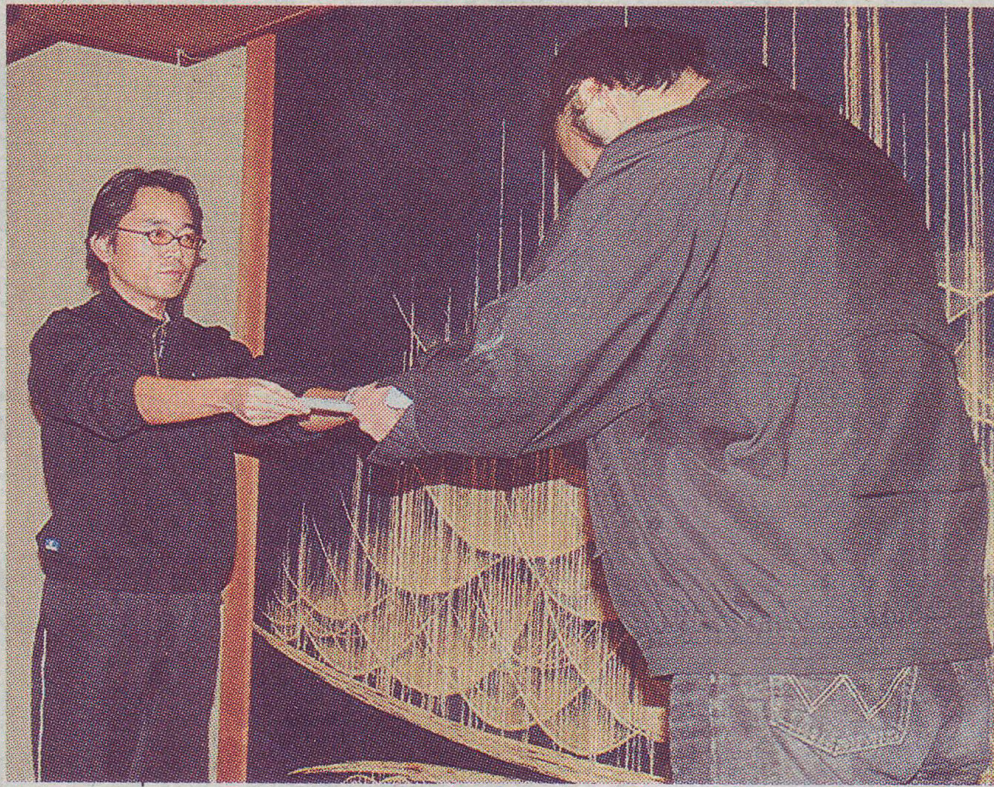
若者自立塾は、二一ト

の就職を支援しようとする民間委託して開設。同町では昨年八月から、NPO法人「ICDS」が事業を開始した。これまでに二十五人ほどが卒業している。この日、自立塾を後にした男性は第五期生としてやって来た。

高校入学後、急に意欲を失い、学校を休むようになった。三年の時に退学。宅配便の仕分け作業のアルバイトを二カ月ほどしたこともあったが、その後は職に就かないまま過ごしていた。

「親に迷惑をかけている」。そう思う反面、考えがそこに至ると自己嫌

訓練3カ月 自立へ一歩



名古屋の男性 南知多の支援塾巣立つ

悪で自分がつぶれそうにけその考えを頭の片隅に
なった。結果、できるだ置くようになり、起きた

「就職へ向け頑張りたい」

い時に起き、寝たい時に寝る生活が続いた。

自立塾の存在を知った親が男性を説得。自分自身も「区切りをつけなければ」と思っていたこともあり、入塾を決めた。

塾では、旅館で労働体験し、コンピューターを使って製図や設計をする企業で研修を積んだ。今後は名古屋の自宅からこの企業に研修に通い、いずれば正社員の道を目指したいという。

男性は「心境の変化についてはまだ分からないが、研修をしながらアルバイトをして、余裕ができたなら、家に生活費を入れるようにしたい」と話した。

卒業証書を受け取る男性〓〓南知多町内海で